

# No. 1410

## サンシャイン計画

— 香 川 ・ 仁 尾 —

瀬戸内海に面した香川県の仁尾町は、雨の降る日が少なく、かつては“塩田の町”として栄えた。今、この跡地に太陽熱を利用したパイロットプラントが建設されている。我が国ではエネルギーの長期安定供給を図るため、昭和49年、通産省工業技術院において「サンシャイン計画」が決定されたが、サンシャイン計画のうち、太陽エネルギーは、無限の無公害エネルギーとして期待されてきた。総工費100億、3500枚の鏡。それでは、ここで、家庭用の小さな鏡を使って、太陽エネルギーの実験をして見よう。鏡に光を当て、わずか3秒で紙は燃えはじめた。パイロットプラントでは、今年に入って実験がくり返されていたが、8月6日、本格発電に成功、世界で初めて「太陽の灯」がともった。エネルギー資源の大部分を海外に依存するわが国にとって、太陽熱利用は大いに期待されている。

## 夏 二 題

海を彩どる魚たち — 愛 知 ・ 南 知 多 —

夏たけなわ。各地の行楽地はどこも家族づれで超満員です。愛知県南知多にあるビーチランドではサマーフェスティバルがいま開かれています。かわいいイルカ達が繰り広げる多彩な芸に子供たちは大よろこび。これは珍しいイルカと人間との対話。テレビ子たちの人気の的は世界の海の70種をこえる魚を集めた水族館、海を彩る魚たちの泳ぎまわる館内に一歩足を踏み入るとそこはもう、海底の世界。見たこともない魚たちとの出会いは子供たちの夏休みの思い出になることでしょう。

安 針 祭 — 静 岡 ・ 伊 東 —

リアス式の美しい海岸線が続く静岡県伊豆半島。この半島の東海岸に位置する伊東市で8月1日から10日間、英国人ウィリアム・アダムスこと三浦按針をしのいで安針祭が開かれました。観光会館で行われた式典には英、蘭、米、墨各国大使等をはじめ、関係者500名が出席、三浦按針の遺業と功績を讃えました。青い目のサムライ、三浦按針は381年前、東洋に派遣されたオランダ商船隊の航海長として日本に渡来、徳川家康の外交顧問として活躍。伊東市ではすぐれた技術をもつ伊豆の舟大工と協力して、日本最初の洋式帆船を建造した。祭の最終日に行われた安針パレード。音楽隊を先頭に市関係者の粉する源頼朝、徳川家康などが次々に登場、市の歴史が再現されました。パレードの主役は英国大使館員による三浦按針。特別参加の踊り子さんがパレードに花をそえます。琴の音の流れる川原では灯籠流し。按針をしのぶ灯籠が川面を埋めるとみごとな光の世界が現れます。夜空を彩る花火が打上げられると祭も終り、夏の季節が静かに過ぎて行きます。